

アルメニアにおける日本伝統音楽イベントの開催

2026年6月13日から15日にかけて、在外公館文化事業の一環として、アルメニアにおいて日本伝統音楽イベントを開催しました。本事業は、日本の音楽文化を現地の人々に紹介するとともに、日本とアルメニアの文化交流の促進を目的として実施されたものです。

6月13日には、エレバンのコミタス室内楽ホールにおいて「From Japan to Armenia」と題する日本伝統音楽コンサートを開催し、約450名が来場しました。

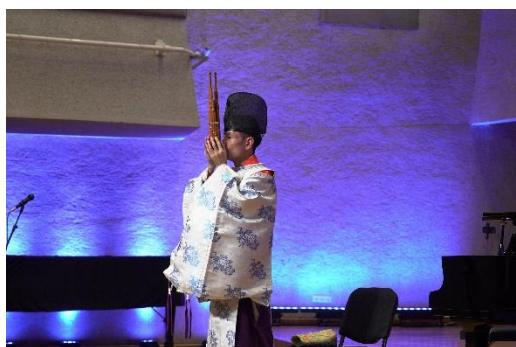
公演には、日本最古の雅楽器の一つである笙を演奏する大塚惇平氏、津軽三味線奏者の中村滉己氏、日本舞踊家の澤入由佳氏、そして東京で「日本コミタス音楽協会」を設立し、アルメニア政府から金メダルを授与されているピアニストの秋場敬浩氏が出演しました。

コンサートの見どころの一つは、日本人とアルメニア人音楽家による共演でした。ドゥドックやカノンといったアルメニアの伝統楽器と日本の伝統楽器が共に演奏され、両国の音楽文化が紹介されました。共演プログラムでは、「ホイ・ナザン」、「ナザニ・ブロイ」、「アラギヤズ」、「フンキ・ツァール」といったアルメニアの楽曲に加え、スタジオジブリ作品の楽曲として知られる「もののけ姫」も演奏されました。

6月14日には、ヒカリセンターにおいてミニコンサートを開催し、子どもや若者をはじめとする来場者が日本の伝統音楽に触れる機会を提供しました。

6月15日には、ロマノス・メリキャン記念国立音楽学校において、日本伝統音楽に関するレクチャーコンサートを開催しました。学生たちは、日本の伝統楽器の歴史や特徴について学ぶとともに、演奏を鑑賞し、実際に楽器を体験しました。

これらのイベントは、アルメニアの人々が日本の伝統音楽に触れる貴重な機会となり、日本とアルメニアの文化交流および相互理解の促進に寄与しました。



大塚惇平氏による笙の演奏



澤入由佳氏による伝統舞踊



中村滉己氏による津軽三味線の演奏



秋場敬浩氏によるピアノ演奏



日・アルメニアの演奏家による共演



コミタス室内楽ホールの様子



青木大使夫妻による来場者への挨拶



集合写真



ヒカリセンターでのミニコンサート



ヒカリセンターの聴衆の様子



ロマノス・メリキャン記念音楽学校での講演



音楽学校の学生や先生達